

## 平成30年度 年間指導計画

教科	国語	対象クラス	○ 必修	単位数	3単位
科目	国語総合	1H1・1H2・1F・1A	必修選択		
使用教科書	標準国語総合(第一学習社)				
使用教材	意味から学ぶ常用漢字(第一学習社)				
評価の 観点・方法	中間・期末の定期考査(60%)・漢字の小テスト(20%)・ノートやプリントなどの提出物(10%)・学習態度(10%)				

学期	月	単元	具体的指導目標	指導内容	予定時数
1 学期	4	随想	随想の読み方を習得する。	「世界は謎に満ちている」(手塚治虫)	7
	5	小説 中間考査	すぐれた描写と効果的な表現を学び、想像力・感受性を豊かにする。	「とんかつ」(三浦哲郎)	11
	6	古文入門	現代語にはない古文特有の語法の基礎を学び、古文読解の入り口に導く。 音読を重視し、繰り返し読むことで、古文のリズムに慣れさせる。	古文入門1(五十音図・歴史的仮名遣い・古語と現代語) 「児のそら寝」(宇治拾遺物語) 「三文にて齒二つ」(沙石集)	12
	7	期末考査 詩	詩の展開とイメージの発展をつかみ、生命の尊さについて理解する。	「I was born」(吉野弘)	4
	8				
2 学期	9	古文に親しむ	興味深い内容の話を読ませることによって、古文に親しみを持たせる。	古文入門2(体言、用言) 古文入門3(用言の活用) 「観音のご加護」(古本説話集)	11
	10	小説 中間考査	短編小説の特色を理解させ、人物の性格・心理・行動を、小説の流れの中で読み取る方法を学ばせる。	「夢十夜」(夏目漱石)	12
	11	評論	具体例から結論へと発展させる方法を把握し、文章読解力を養成する。	「コミュニケーションは創造的に」(伊藤進)	11
	12	期末考査 和歌	四季の歌について、それぞれの季節感とそれを表現する素材や用語、歌い方を考える。当時の生活様式や風俗習慣を調べ、歌人の置かれた状況や心情を考える。	万葉・古今・新古今	3
3 学期	1	漢文入門	漢文の基本的な構造、句法を理解させる。	「訓読に親しむ」(返り点・送りがない・書き下し文・再読文字)	9
	2	故事成語	漢文入門で学んだ漢文訓読の知識を用いてまとまった文章を読み、訓読の基本を習得させる。	「五十歩百歩」(孟子) 「蛇足」(戦国策) 「矛盾」(韓非子)	11

	3	学年末考査 百人一首	和歌のリズムを感じ、日本語 の伝統的な表現の美しさに 触れる。	小倉百人一首	4
--	---	---------------	---------------------------------------	--------	---